



# 横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

## 支えることと、見守ることと

副校長 澤 勉

朝、青葉台駅から学校に向かう坂を上ると、少し汗ばむような陽気になりました。榎が丘第一公園で聞こえるウグイスのさえずりも、五月上旬の不安定さを乗り越え、高らかに響いております。校内でも、それぞれの教室やフロアから子どもたちの明るい歌声が聞こえてきます。保護者、地域の皆様方におかれましては、日頃より榎が丘小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、この坂の途中、田園都市線との境にある鉄の柵（明るいグレーに塗られているものです）にふと目を凝らしたとき、何本かに刻印があることに気づきました。それらの文字の中には四桁の数字もあります。その中で私自身の誕生年である19××の数字を見つけたとき、どこか不思議な縁を感じました。「この刻印はロット番号かもしれない」と思い、改めてよく見てみると、その柵の断面はレールの形をしています。どうやら古いレールを短く切って再利用したもののようです。

気になって調べてみたところ、古いレールは柵だけでなく、ホームの柱や橋げたなどさまざまところで再利用（アップサイクル）されているとのことでした。青葉台駅が開業したのは今からちょうど六十年前の1966年だそうです。もしかすると、そのころに使われたレールが現役を引退し、手を加えられ、安全を守るために生まれ変わったものかもしれません。

子どもたちの学びは、多くの人の支えの中で育まれていきます。学校と家庭、地域が手を取り合い、安心して学ぶことができる環境を整えることは、何より大切です。

一方で、レールの上を進ませるように、あらかじめ道筋を整えすぎてしまうと、子ども自身が立ち止まり、考え、迷いながら進む機会を失ってしまうかもしれません。試行錯誤の中でこそ育まれる力を、私たちは大切にしたいと考えています。

必要なときにそっと支え、そして時には一歩引いて見守る。そのような関わりの中で、子どもたちが自らの力で歩みを進めていくことを願っています。

さらに、まちの身近なものの中にも、学びのきっかけが数多くあることに改めて気づかされました。保護者や地域の皆様からも、子どもたちの学びにつながる視点や気づきをぜひ教えていただければと思います。それらが、子どもたちの思いや願いを広げ、より深い学びへとつながっていきます。

役目を終えたレールが形を変えて、今もなお人々の安全を静かに支えている姿には、どこか心を打たれるものがあります。お近くにお立ち寄りの際には、安全にお気をつけてご覧いただければと思います。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。